

実家じまい・生前整理・終活支援、家族の記録保存に、新しい選択肢を

## 家族の記憶を未来へ継承。捨てる・壊すを「生かす・遺す」 に変え、核家族化による社会的な孤立の解決糸口に／家族 の思い出をVRで保存する「ハウストストーリー」サービス開始

～360° VRを入口に、家族や先祖代々の歴史と絆をつなぐ～

株式会社Leoline（北海道札幌市、代表取締役：畠山 琢）は、家族が暮らした家をWebブラウザで見ることが  
ができる360° VRとして記録し、写真、動画、家系図、家族年表、エピソードを一つにつなぐ家族の歴史を  
継承する新サービス「ハウストストーリー（HOWSTORY）」を2026年8月10日より提供開始いたします。

### A HOUSE BECOMES A DOORWAY TO MEMORIES

家を入口に、  
写真と歴史と思い出を一つにして、  
絆をつなぐ。

特別なアプリやVRゴーグルは必要ありません。QRコードを読み取る  
だけで、家族が暮らした空間と、その場所に残る記憶を閲覧できます。

360° VR

エピソード

家族写真

動画

家系図

家族年表

過去帳



360° VR SAMPLE

ハウストストーリーVRサンプル

<https://howstory.jp/vr/sample/>



OFFICIAL WEBSITE

ハウストストーリー公式サイト

<https://howstory.jp/>



家族へ手渡すQRカード



表面



裏面

完成したハウストストーリーは、  
名刺サイズのQRカードとして納品。  
家族へ配布し、それぞれのスマートフォン  
から 同じ記録を共有できます。

# 開発の原点・背景とサービス概要

※ イメージなどの詳細は別紙をご覧ください。

サービス概要：不動産には残せない「家族の源流」を資産に変え、離れていても家族を1つにつなぐ「絆」を生む

「ハウストーリー」は、単なる建物のデータ保存ではありません。先祖が守りぬいた地域・土地「その場所のすべて」をVR空間に丸ごと保存するサービスで、家族なら誰でもスマホ一つでアクセスが可能です。

- ・空間の完全保存：独自の撮影方法とVR技術で、柱の傷、窓から見える景色、生活の息遣いまでをミリ単位で再現。
- ・家族の物語：写真や動画では不可能な「その場所を歩く」疑似体験を通じて、当時の思い出を主観的に追体験。
- ・未来へのギフト：土地は更地に、精神的な拠り所（ルーツ）はデジタル資産として次世代へつなぐ。

本サービスが提供する真の価値は、家族の記憶を守ることによって絆を強くすることを実現します。

背景：実家じまい問題の裏にある「捨てられない・壊せない」という心のブレーキと、核家族化がもたらす影響による課題

現在、日本国内では超高齢社会の進展と地方から都市部への人口移動により、実家を整理・処分する「実家じまい」が増加しています。総務省の調査においても空き家数は過去最多を更新し続けており、地域の過疎化に伴う不動産の解体・売却は今後も避けられない社会課題となっています。

また、高度経済成長期の都市化や産業構造の変化に伴い急速に進行した核家族化も、近年は未婚化や晩婚化、高齢化の影響により、独り暮らしの「単独世帯（単身世帯）」が急増しています。この進行は、日本社会における子育て支援や高齢者福祉のあり方に大きな変化を求めており、厚生労働省の統計データや総務省の社会構造レポートでも重要な課題として取り上げられています。

原点：生前に撮影していた祖母の家

本サービスの原点は、代表・畠山自身の家族の記録です。2021年、祖母・テルさんが長年暮らした家を、元気なうちに撮影しました。2022年9月、約20年に渡り一人暮らしをしていたテルさんは施設へ入所し、その後、繰り返さう話しました。

「家に帰りたい」「おばあちゃんの家に行こう、帰ろう」

この言葉が撮影のきっかけだったわけではありません。しかし、生前に残っていた家の記録は、家族にとって 新しい意味を持つ存在 となりました。2024年3月24日に祖母が亡くなった後、父とともに写真・家系図・年表・先祖の記録を整理し、一つの家族の物語としてまとめたことが、「ハウストーリー」誕生の原点です。

報道関係者の皆さまへ

各種取材の他、実際の操作風景の撮影にも対応いたします。

## — 会社概要

会社名：株式会社Leoline

代表者：代表取締役 畠山 琢

所在地：札幌市中央区北4条西11丁目42-1 ソーレルハイツ植物園401

## — 本件に関する問合せ先

サービス名：ハウストーリー（HOWSTORY）

担当：ハウストーリー事業部（斎藤）

電話：0120-55-7742

# サービス誕生までの経緯

BACKGROUND

HOWSTORY

## — 誕生までの経緯

HOW HOWSTORY CAME TO BE

2021

### 祖母の家を生前に撮影

祖母・テルさんが長年暮らした家を、家族の記録として撮影した。

2022

### 施設へ入所

2022年9月、祖母が施設へ入所。住み慣れた家を離れ、新しい環境で「家に帰りた」と繰り返した。

2024

### 祖母との別れ

2024年3月24日に祖母が施設で逝去。生前に撮影していた家の記録から、VRを制作し始めた。

2025

### 父とともに記録を制作

写真、動画、家系図、家族年表、先祖の記録を整理し、約100年にわたる家族の物語へ発展させた。

## — 家族約100年の記録

FAMILY ARCHIVE

家に残されていた古い写真を整理し、カラー化した写真とともに、写真アルバムや過去帳、家系図や家族年表へつなげています。

1900

明治33年



ORIGINAL

元写真



COLORIZED

カラー化

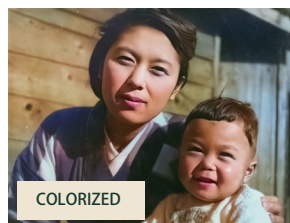
1948

昭和23年



ORIGINAL

元写真



COLORIZED

カラー化

## — 父が語った、一番印象に残る言葉

共同制作から数か月後、父・畠山健はこう話しました。

「この数か月間、どの家族よりも、  
俺が誰よりも一番近い場所で、  
先祖と対話した」

父・畠山健